

# 会 議 録

<b>会議名称</b>	第4期幸区区民会議 第3回専門部会 暮らしの安全部会
<b>日 時</b>	平成24年12月14日（金）18時30分～20時15分
<b>会 場</b>	幸区役所 5階第3会議室
<b>出席者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（五十音順） 石原陽子委員（副部会長）、押山兼二委員（部会長）、神谷厚子委員、近藤多恵委員、鈴木奈美枝委員、西野恭一委員、三堀八郎委員</li> <li>●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 佐々木課長、加藤係長、池田職員 幸区役所まちづくり推進部危機管理担当 平川課長、大村係長 株式会社地域計画連合 桑原研究員</li> </ul>
<b>欠席者</b>	小泉実意子委員、昼間政治委員
<b>配付資料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●議事次第</li> <li>●資料1 幸区区民会議 暮らしの安全部会 審議テーマの全体像</li> <li>●資料2 第4期幸区区民会議「暮らしの安全部会」スケジュール（案）</li> <li>●資料3 改めて、自助とは・・・？</li> <li>●資料4 川崎市・幸区で発行している防災マップについて（平成24年12月6日現在）</li> <li>●資料5-1 幸区内における中学生を対象とした防災訓練（DIG）の取組について</li> <li>●資料5-2 中学校と地域が連携した防災訓練（事例）</li> <li>●資料6 第4期幸区区民会議だより 第2号</li> <li>●資料7 第4期幸区区民会議平成24年度スケジュール</li> </ul>
<b>議 題</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 取組内容の検討について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 取組内容の検討について</li> <li>(2) 具体的な調査・審議について</li> </ol> </li> <li>2 第4期区民会議だより第2号（案）について</li> <li>3 その他</li> </ol>
<b>決定事項</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全11回の専門部会のうち、7回を防災、4回を自転車マナーについて調査審議を行っていく。</li> <li>●具体的な取組は、中学生と連携した「防災マップづくり」とする。</li> <li>●第4回暮らしの安全部会は、平成25年1月23日（水）に開催する。</li> </ul>
<b>会議の内容及び 主な発言</b>	<p><b>1 取組内容の検討について</b></p> <p>(1) 取組内容の検討について 資料1～2に基づき、事務局から説明。</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災については、来年5月までの調査審議でまとめられるか疑問がある。 ⇒予定として7回としておき、実際の回数は前後しても構わないのではないかと。</li> <li>●自転車についてもしっかり審議する必要がある。 ⇒自転車の（啓発）デモンストレーションなどを検討してはどうか。</li> </ul> <p>(2) 具体的な調査・審議について 資料3～5に基づき、事務局から説明。</p> <p>【主な意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●これまで、災害対策ネットワーク会議や自主防災組織の話聞いてきたが、取組の地域差が大きいと感じている。</li> <li>●中学生を対象とした防災訓練など、中学校と連携する取組ができるとよい。</li> <li>●子どもを教育すると親も教育できる。そうした意味で、中学生を巻き込むというやり方は有効である。</li> <li>●取組を3つ（自助・中学校区別防災マップ・中学生を巻き込んだ防災訓練）</li> </ul>

実施することは難しいので、エリア別の防災マップづくりを中心にするのはどうか。

⇒中学校と連携し、作成プロセスまで検証した手法を提案できるとよい。

●行政に「マップを作って下さい」と提言するのではなく、内容まで含めて提言できればよい。

●防災マップの裏面を白紙にするのもつたいない。こういうときはこういう動きをする、など実際に使えるプチ情報があるとよい。

●鶴見区には「水害に注意しましょう」という看板があちこちにある。

⇒以前、委員から「海拔2.1m」という表示について言及があったが、マップにもそうした情報を掲載するとよいのではないか。

●防災マップだけに特化せず、自助意識の啓発や防災訓練も含めた形で実施することも可能ではないか。

⇒防災マップを作成する過程は、地域を知るという意味でも、自助意識の啓発や防災訓練として捉えられるのではないか。

●5地区のマップを作成するのは時間的にも厳しいので、まずは、どこか1つの地区をモデルにし、作成してはどうか。

⇒モデル地区を決め実施するなら選出方法も検討する必要がある。

●委員の中で、中学校と関連がある方がいるとよいが。

⇒南河原中学校や南加瀬中学校になるのではないか。

●現状の防災訓練は幸区が実施しているのか。

⇒自主防災組織が中心となり実施している。訓練内容については、自主防災組織へ提案することも可能である。

●最終的な成果はフォーラムで発表できるとよい。

●モデル中学校の打診が必要。学校のカリキュラムのこともあるため、年度内の実施は厳しいかもしれない。

⇒地域教育会議、PTAにも協力を打診してはどうか。

## 2 第4期区民会議だより第2号(案)について

資料6に基づき、事務局から説明。意見等がある場合は12月19日(水)までに事務局に連絡する。

## 3 その他

次回専門部会は、平成25年1月23日(水)18時30分から開催。

以 上